

学修意欲に寄り添うNCU LX・DXシステム操作説明会 —卒業を見据えたトータルな人材育成に向けて—

NCU LX・DXシステムは、学生の学修経験にデータ駆動型支援を提供するシステムです。「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」事業に採択されたあと、この間、開発が進められてきました。

導入されたシステムを実際に各部局で役立てていただくため、高等教育院では、令和4年10月5日（水）午後、各研究科から選出された担当教員の方にお集まりいただき、「NCU LX・DXシステム」の操作説明会を開催しました。



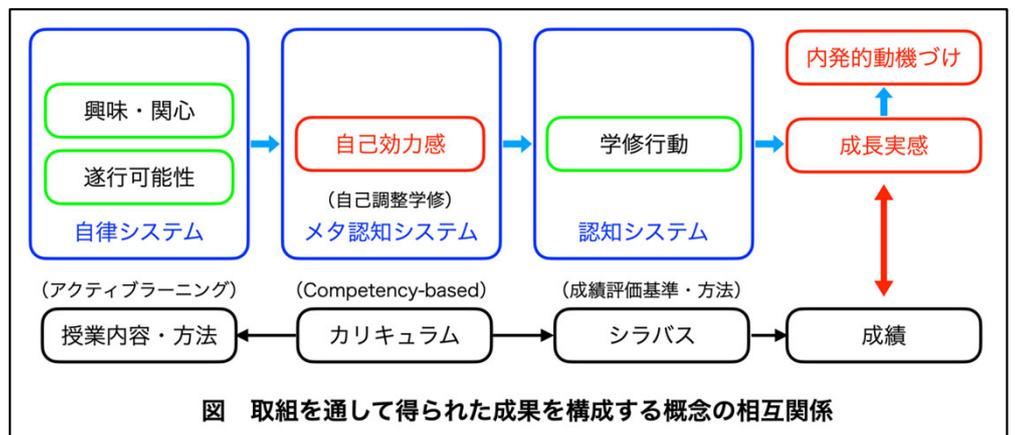
高等教育院 教授
山田 勉

システム概要、取り込みデータ、基本操作に関する説明が事務局から行われたあと、メインテーマである、多様なダッシュボード群とその分析内容に関する紹介に移りました。

前半は、自律的な学修者育成を目指すためのダッシュボード群の紹介です。

本学では、巧みな (skillful) 学修者が、高い自己効力感と内発的な興味をもっていることに着目して、昨年より、自己評価・成長実感アンケートを全学で実施しています。その目的は、学生みずから「自律的な学修者」であるかどうかを自己評価すること、学生の「成長実感」の精度を確認すること、そしてその分析結果を、資質・能力を身につける教育モデルを確立するための検討材料とすることです。

主に教員向けに開発された4種類のダッシュボードでは、それぞれ大学全体・学位プログラム・授業という3つのレベルで、自律的な学修者育成を支援できているかをチェックすることができます。



後半は、入試・学業成績・進路を含むトータルな実態把握を目指すダッシュボード群の紹介です。

本学では、入試区分別の累積GPA（最新）平均値推移、および入試形態と大学成績の相関、さらに入試得点と累積GPAの相関などを分析するためのダッシュボード群を独自に開発し、「入口ー中身」の視覚化を進めました。また、学業成績や進路・就職など教学IRで一般的に使用される約20種類の汎用ダッシュボードが用意されていることについても説明を加えました。

質疑応答では、自己評価・成長実感アンケート結果を学生個人にフィードバックするうえでの課題や入試と成績の相関を分析することの有用性など活発な議論が行われました。

最後に、高石院長から、今後、進路・就職に関わるデータを拡充していくことにより、「入口ー中身ー出口」の視覚化が進み、入試・学業成績・進路を含むトータルな学生実態の把握が可能となることに言及があり、本システムを各部局において活用することによって学生の学修意欲に寄り添う一層の教育改善を期待する旨の挨拶があり、説明会を終了しました。



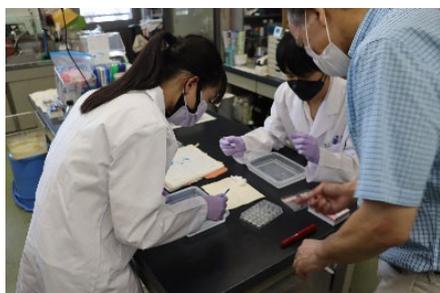
NCUグレード・スキップ・チャレンジ を開催しました

名古屋市教育委員会との連携事業の一環として令和4年7月25日（月）～8月25日（木）にかけて「大学丸ごと研究室体験」（以下「丸ごと研究室体験」）、8月10日（水）～9月25日（日）にかけて「NCUグレード・スキップ・チャレンジ」（以下、「GSC」）を実施しました。これらの企画は、名古屋市立高校生に科学や社会活動、社会問題などに興味・関心を深めていただくために、大学での実験・実習を体験する機会を提供するものです。

丸ごと研究室体験では医学部、薬学部、総合生命理学部の講座を、GSCでは経済学部、人文社会学部、芸術工学部、看護学部、そして令和5年度開設予定のデータサイエンス学部の講座を開講しました。今年度は丸ごと研究室体験とGSCと合わせて150名以上の高校生に参加していただきました。

参加した高校生は初めて行う大学水準の実験・実習に積極的に取り組み、時には鋭い質問をする高校生もいました。また、GSCでは最終日に講座で学んだことを共有する合同発表会があり、緊張しながらも堂々と成果報告をする姿も見られました。

これらの企画では大学教員だけでなく大学生とも交流することができるため、高校卒業後の進路やその先の将来を考える上で参考になると参加した高校生から大変好評をいただいております。



【医学部講座の様子】



【芸術工学部講座の様子】



【合同発表会の様子】

教育改革フォーラム

を開催します

第16回の今回は、「令和5年度新カリキュラムについて」をテーマに、教養教育のカリキュラム改革についてご報告し、授業など今後の教育活動に活かしていただく機会にしたいと考えています。多くの方のご参加をお待ちしております！

日時：令和4年11月28日（月）15時30分～16時45分

場所：滝子キャンパス2号館1階207教室

対象：教職員・TA



お申し込みは下記までご連絡ください。

メール：kyoumu_kikaku@sec.nagoya-cu.ac.jp

TEL：872-5804（教務企画室 千葉・勝上）

TEEPシンポジウム・

ワークショップを開催します

進化型実務家教員養成プログラム(TEEP)では、産業界の実践知と大学の学術知を融合させ、両者の懸け橋となる高度専門人材を養成しています。実務家教員の活躍の場として、探求力を育てる教育の場づくりを考えるシンポジウムを、下記の通り開催します。人材育成に関心のある方、是非ご参加ください。

記

日時：令和4年11月16日（水）シンポジウム（14：00～16：00）
ワークショップ（18：00～19：00）

方法：ZOOMによるオンライン開催（参加費 無料）

テーマ：シンポジウム 実践知を教育にいかす探究授業を「つくる。」

～新たな未来を牽引する人材を育てるには～

ワークショップ 領域別に考える実践知の伝え方

※領域は3つの専門コース

（心理カウンセリング/スポーツ実務/減災・医療）

対象：大学関係者及び人材育成に関心のある実務家

申込：<https://req.qubo.jp/teep-consortium/form/lr5snJXS>

上記URLよりお申し込みください。（申込期間：10/17～11/14）

学務情報システム・証明書発行機の更新について

以下のスケジュールで学務情報システム、証明書発行機の更新を予定しています。

令和4年12月1日（木）～

新システムのマニュアル等はホームページ上に随時情報を掲載します。